

## 1. 基本的考え方・視点

- 住民に対するメリットの明確化
- 障がい者、高齢者、女性を含む利用者視点を踏まえた取り組みであること
- 自立し、持続することが可能な取り組みであること
- 民間投資を引き出す取り組みであること

## 2. 実施体制

- 地方公共団体の主体的な関与の明確化
- 民産学公官が連携した取り組みであること
- 地域の関係者が相互に連携し、地域コミュニティが一体となった取り組みであること

## 3. ICTスマートタウンの発展に向けた技術的課題

- 共通ID(番号制度)の活用
- 地理空間情報の活用
- オープンデータの活用
- 複数の街が連携・相互補完する取組みの推進
- 共通プラットフォームの共通仕様の策定
- 共通プラットフォームの標準化項目の特定
- 特定ベンダーへの依存排除
- スマートフォン、タブレット端末における、マルウェア等へのセキュリティ対策

## 4. 重点アプリケーション分野

- ICTを活用した生活資源対策
- 教育分野への活用・コミュニティの再生
- 地場産業、1次産業のICT化を核とした街づくり
- 老朽化した社会インフラの保守管理への活用
- 災害時の情報伝達・共有への積極的な活用
- 災害時におけるサービス継続性を念頭に置いたICTシステムの構築

# 推進会議、検討部会における主な意見

## 5. 普及展開に向けた課題

- 成功事例の横展開、水平展開の推進
- 成果の体系化、類型化、定量化、可視化
- ビジネスとして成り立つ成功事例の特定
- グローバル展開先となるターゲット地域の明確化

## 6. 評価、分析方法

- 戦略的なマッピング(利活用分野、地域、技術等)の策定
- 評価指標・評価基準
- PDCAサイクルによる評価、見直しを行い、ノウハウを共有しながら、実証プロジェクトを実施